

V Age Network 田園都市交流会

パソコン安全運転法

2003年6月10日 川崎市民プラザ

話題提供: 齋田 洋一

<y-saida@kanagawa.email.ne.jp>

パソコン安全運転の必要性

殆どのウィンドウズ系パソコンには“**ユーザの情報資産を守る**”ことへの配慮が欠落している。

- Windows Me 以前のハングアップ/クラッシュの頻発
- システムとユーザデータを同じ記憶メディア上に同居させると言う危険な設定
- 次から次へと露呈するセキュリティーホール

自衛策なしでパソコンを使うのは**ヘッドライトがない車で夜道を走る**ようなもの。

命だけはお助け！

パソコンに入っている物で大切なのは何？

ユーザ データ (メール、デジカメ写真 等)	何があっても これだけは助けて！
ソフト ウェア (OS、アプリケーション 等)	ウイルス感染や 気絶だけはやめて！
ハード ウェア (CPU、メモリー、HDD 等)	壊れずに動いてくれさ えすればいいんだよ！

My Document をシステムディスク から切り離して安全圏へ！

- ユーザーデータの多くはCドライブに設けられた My Document (My Pictures) フォルダに収容される。
- ユーザーデータを分離すればシステムディスクが壊れても助かるようになる。
- ウィルスなどでシステムリカバリーをしてもユーザーデータは無傷で保持される。

ハードディスクの パーティションを切り分ける

- ハードディスクをソフト的に区分し、見掛け上別個のハードディスクを作り出す。
- 作り出したディスクドライブをユーザーデータ収容専用のドライブにする。
- システムイメージファイル(後述)の収容場所としても利用可能。

パーティション切り分けの手順

パーティション切分けは50-50が基本

1) ディスクをクリーンアップする。

恩恵 - ディスクスペースが広がる

- ファイルへのアクセスが早くなる

2) ディスクエラーのチェックと修復をする。

3) ディスクの最適化(Defragmentation=細切れファイルの整理取りまとめ)をする。

[これらの整理整頓は日常の使用でもPCの体調維持に有効]

ハードディスクの検査と整頓

The screenshot shows the Windows XP 'マイコンピュータ' (My Computer) window. The main pane displays a list of drives with columns for name, type, total size, and free space. The 'SABRESYSHD (C:)' drive is selected, and its properties dialog box is open. The dialog box has tabs for '全般' (General), 'ツール' (Tools), 'ハードウェア' (Hardware), '共有' (Sharing), and '拡張メニューの設定' (Advanced Settings). The 'ツール' tab is active, showing three options: 'エラーチェック' (Error Checking), 'バックアップ' (Backup), and '最適化' (Optimize). Each option has a description and a button to perform the action.

名前	種類	合計サイズ	空き領域
3.5 インチ FD (A:)	3.5 インチ フロッピーディスク		
SABRESYSHD (C:)	ローカル ディスク	14.6 GB	8.65 GB
B'sCLIP (D:)	CD-ROM	532 MB	430 MB
SABREDATA (E:)	ローカル ディスク	23.5 GB	5.74 GB
コントロール パネル	システム フォルダ		
モバイル デバイス	システム フォルダ		

空きディスク領域: 8.65 GB、容量: 14.6 GB

SABRESYSHD (C:)のプロパティ

全般 | ツール | ハードウェア | 共有 | 拡張メニューの設定

エラー チェック
このオプションはボリュームのエラーをチェックします。
チェックする(C)...

バックアップ
このオプションはボリュームのファイルをバックアップします。
バックアップする(B)...

最適化
このオプションは、ボリューム上の断片化したファイルを最適化します。
最適化する(O)...

OK | キャンセル | 適用(A)

パーティション切り分けツール

Windows 標準ツール(マイコンピュータを右クリック -管理(G)-ディスクの管理)があるがディスクの内容が消去されてしまう。

(http://www.cty-net.ne.jp/~i-mura-1/pc/part_nt.html)

既存システムを保存できるパーティションツール

1) Partition Magic (V8.0) - この種ツールの元祖で完成度が高い。

ネットジャパン社 (<http://www.netjapan.co.jp>)

2) PARTITION MASTER 2002 - DOSコマンドなしで使える特長。

メディアヴィジョン社 (<http://www.mvi.co.jp/>)

3) 類似ツールの情報の所在

<http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win95/util/boot/index.html>

パーティション切り分け (PQ Magic 7.0j の起動画面)

The screenshot shows the PowerQuest PartitionMagic 7.0j interface. The main window displays a tree view of the disk structure on the left and a detailed view of the selected disk on the right. The detailed view shows two partitions: C: SABRESYSHD (14,998.2 MB, FAT32) and E: SABREDATA (24,081.8 MB, FAT32). Below this is a table summarizing the disk partitions.

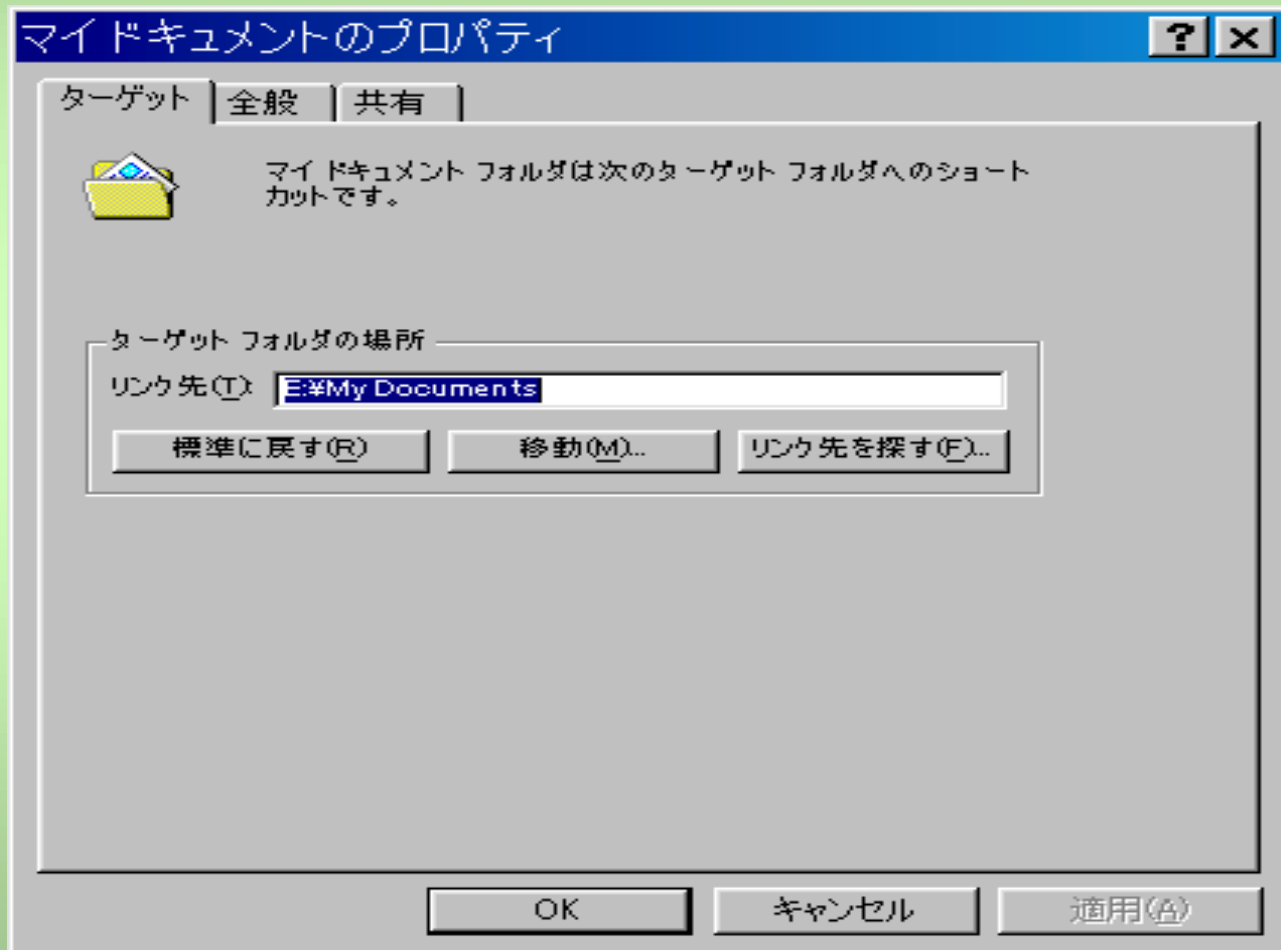
ディスク	ボリューム	種別	サイズ	使用済	空き容量	状況	基本/論理
1	C:SABRESYSHD	FAT32	14,998.2	6,134.8	8,863.3	アクティブ	基本
1	*	拡張	24,081.8	24,081.8	0.0	なし	基本
1	E:SABREDATA	FAT32	24,081.8	18,201.2	5,880.6	なし	論理

At the bottom of the interface, there are several icons representing different operations: 新規パーティションの作成 (New Partition Creation), パーティションサイズの変更 (Change Partition Size), 空き領域の再配器 (Free Space Reorganization), パーティションの結合 (Partition Merging), パーティションのコピー (Partition Copying), and 終了 (Exit). A legend at the bottom right shows color-coded boxes for FAT, FAT32, NTFS, Linux Ext2, Linux Swap, NetWare, HPFS, 拡張 (Extended), 空き領域 (Free Space), 未フォーマット (Unformatted), and その他 (Other). The status bar at the bottom right indicates that 0個の操作が未実行 (0 operations are pending).

ユーザデータの引っ越し

- 新たに作成されたドライブ(例えば D:¥)に
C:¥My Document をそっくりコピーする。
- マイドキュメントのリンク先を変更する。
デスクトップのマイドキュメントアイコンを右クリックし、
プロパティで、
ターゲットを新しくコピーした
D:¥My Document フォルダーに変更する。

ユーザデータの引っ越し (ターゲットフォルダの変更)



その他の重要な個人データ(1)

Outlook Express メール(1)

- ツール(T)-オプション(O)-メンテナンス-保存フォルダに保存場所の情報がある。

Windows2000pro では

C:¥Documents and Settings¥UserName¥Local Settings¥Application Data¥Identities¥{490E72C9-5807-41B4-B74F-1E53E185AB34}¥Microsoft¥Outlook Express

Windows98SE では

C:¥WINDOWS¥Application Data¥Identities¥{332EDE40-88A4-11D3-96CD-E7CF7840A32B}¥Microsoft¥Outlook Express

- フォルダ内の全てのファイルを別の場所にバックアップする。

その他のほかの重要な個人データ(2)

Outlook Express メール(2)

- 1)発信メールは自分に CC(又はBCC) する。
- 2)ツールを使ってテキスト形式に変換して保存する。

- その1: Outlook Express テキスト化ツール
【DbxConv】

添付ファイルの一括抽出やアドレス抽出もできる
シェアウェア 1,200円 (作者：藤井 卓哉)

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se235777.html>

その他のほかの重要な個人データ(3)

Outlook Express メール(3)

その2: 汎用メール分割移行ツール「MailExp」

やや古い定番汎用ツールだが WindowsXP でも使える模様。

フリーウェア (作者: 野元 真)

<http://www.digico-m.com/shin1/>

作者によるサポートは行われていないが

<http://www.digico-m.com/shin1/support/minibx.cgi?newflg=on>

にユーザー B B S があって利用上の情報が得られる。

その他のほかの重要な個人データ(4)

Internet Explorer のお気に入り

“お気に入り” のフォルダーの中身をまるごとコピーしてバックアップ。

- WindowsXP, 2000 では
C:¥Documents and Settings¥UserName¥Favorites
- Windows Me, 98 では
C:¥windows¥Favorites

その他のほかの重要な個人データ(5)

Outlook 予定表のデータ (outlook.pst)

Windows XP, 2000 では

C:¥Documents and Settings¥UserName¥Local Settings
¥Application data¥Microsoft¥Outlook

Windows 98 では

C:¥Windows¥Local Settings¥Application Data¥Microsoft¥Outlook

フォルダ内にあるすべてのファイルを適当な所にコピーしてバックアップ。

ユーザデータ バックアップ ツール

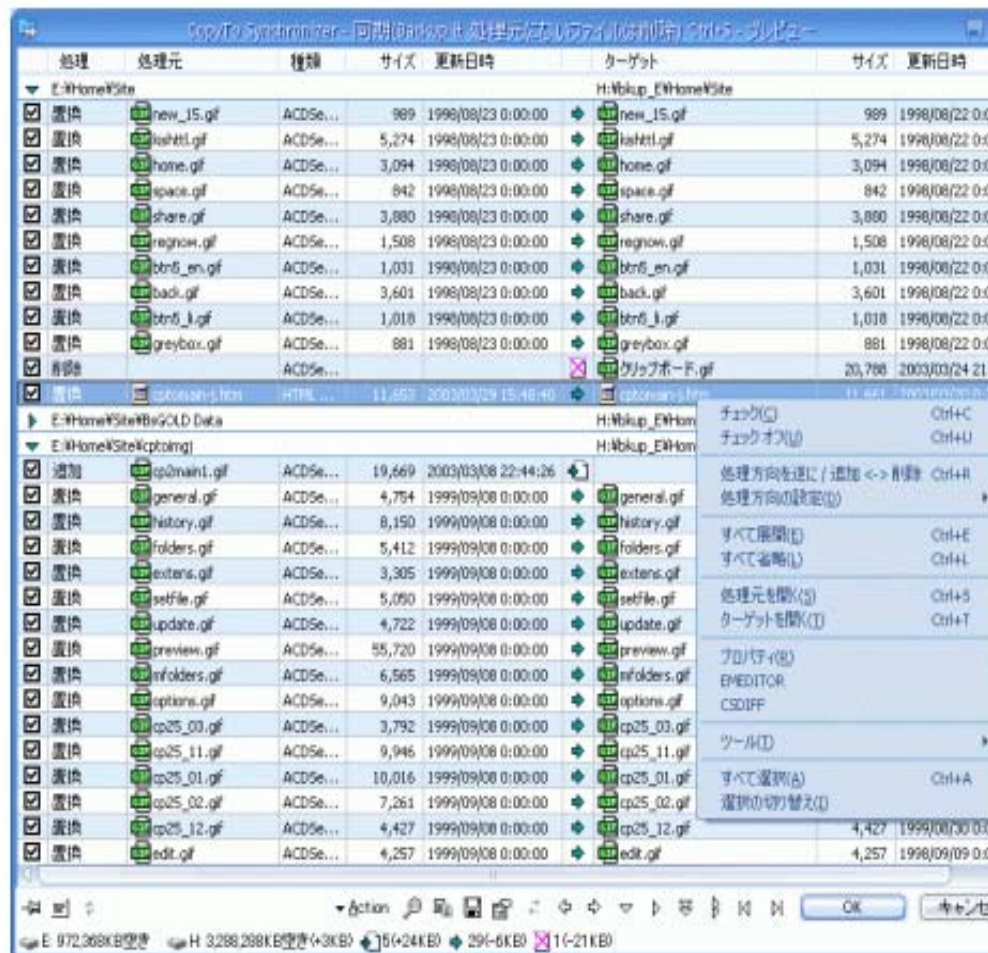
- **Copyto Synchronizer (Ver.2.73j)**

プレビュー確認機能を備えたバックアップ/ミラーリングソフト。

シェアウェア 500円 (作者: kish さん)

<http://www.ne.jp/asahi/cool/kish/index-j.html>

Copyto Synchronizerの概観



拡大表示

この画面はStyle XP(TGT Soft LLC)を使用してWindows XPの外観を変更しています。

自分用にカスタマイズした システム環境全体の復旧法

- 別パーティションにシステムドライブのイメージを保存して置く。
- **Drive Image2002 (NetJapan)**など、イメージ作成ツールを利用。
- 予め作成しておいた緊急起動ディスクを使って別 OS で立ち上げ、システムイメージを書き戻す。
- ハードディスクの交換も可能となる。

Drive Image 2002 の起動画面



古いパソコンの活用(1)

$$1 + 1 > 2$$

Windows98以降だったら買い換えた時に廃棄せず、新旧のPCをLANで繋ぐ(型落ち/中古品の活用)。

- 体感的には3～4倍の効用が得られる。
- 用途を分担して使い分ける(画像/インターネット)。
- 使わないソフトはアンインストールして共有フォルダー用のスペースを明け、随時ユーザデータをバックアップする(安全策として最高)。
- クリップデータ転送ツールなどを活用して2台を連携させて使うと非常に便利。

古いパソコンの活用(2)

(クリップボード連携ツールの実例)

1) Clipboard Forwarder Ver.0.90

フリーウェア

LANで接続されているパソコン同士でクリップボードの中味を送受信できる。

http://www.nifty.com/download/win/util/clipbrd/index3_04.htm

2) LANクリップボード Ver.3.15

シェアウェア 800円 (作者：Team Quickware)

4台までのPCのクリップボードをLANで共有。

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se065544.html>

パソコン安全運転法のまとめ

ほとんどのパソコンメーカーは**セールスポイントにし**
難いユーザデータ保全に対する考慮をしていない。

現状では必要な情報とツールを各自探し出して**自分の情報資産を自衛する**しかない。

独立したデータ貯蔵庫を設け、**ユーザデータをシステムから隔離する**。

できれば別のPCとLANを組み、相互バックアップ体制を築く(外付ドライブでも可能)。

独自にカスタマイズしたシステム環境の復元まで可能なバックアップができれば大安心(外付ドライブでは困難)。

おわり